

施策3 快適環境を創出します

基本目標

2 自然と共生・共存を図り、豊かな自然とふれあえるまち

緑や水環境の保全・創出を図るとともに、貴重な動植物の保護・保全に努めるなど、豊かな自然とふれあえるまちを目指します。

1 現状と課題

(1) 現状

【市街地の緑の保全と再生】

- 本市は、市域の北部から東部にかけて環境シンボルである金華山や百ヶヶ峰などの森林が広く分布しています。

また、市域の西部から南部にかけての市街化調整区域には、水田を中心とする一団の農地が広がっているほか、郊外部の市街地においても農地の分布が見られます。

平成19年度に実施した都市計画基礎調査では、本市の緑の量は12,587haで、市域に対する割合は62%となっています。

緑の区分別で見ると、二次林^{※33}が5,260haで最も多く、次いで水田が2,868haとなっています。

- 本市の都市環境においては、街路樹や公園の緑、学校などの公共施設内における緑、さらには宅地における緑が、うるおいと安らぎのある生活空間を形成しています。

また、こうした緑は二酸化炭素の吸収と酸素の供給がされ、ヒートアイランド現象^{※34}に対しても有効と考えられています。本市の平成22年度における都市公園の面積は約352haで、市民一人当たりの整備水準は8.5㎡となっており、全国平均と比べると多いとは言えません。

また、中心市街地の緑被率は約4%にとどまっており、市街地の緑を増やすことが求められています。

【水辺環境】

- 市内には、長良川をはじめとする多くの河川・水路（一級河川（27河川）、準用河川（18河川）、普通河川）が存在しています。

市内の中央部を流れる長良川は昔から清流として知られており、昭和60年には環境庁（現環境省）により岐阜市を含む長良川中流域が名水百選^{※35}に選定され、平成20年には金華山東山麓の達目洞（逆川上流）が平成の名水百選^{※36}に選定されました。

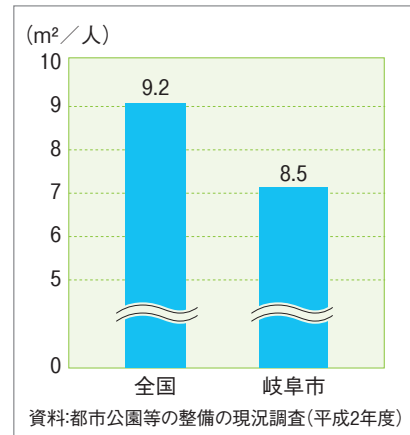
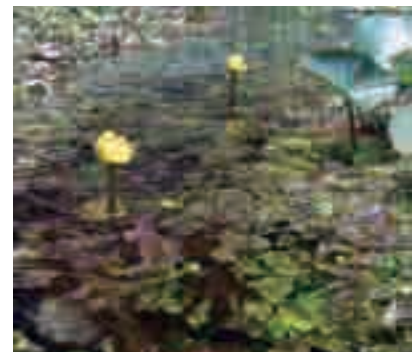


図3-1 一人当たりの都市公園等面積



平成の名水百選に選ばれた達目洞(逆川上流)

※33 二次林／自然林が伐採や災害によって破壊された後、自然に、又は人為的に再生した森林。

※34 ヒートアイランド現象／都市の中心部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象。

※35 名水百選／昭和60年に環境庁が、全国100か所の「名水」とされる湧水や河川を選定。本市の長良川中流域がその一つに選ばれた。

※36 平成の名水百選／平成20年に環境省が全国100か所の湧水、河川、用水、地下水を選定。本市の達目洞（逆川上流）がその一つに選ばれた。

- 本市には、長良川の恩恵を受けた豊富で良質な伏流水、地下水があり、水道水や井戸水として市民生活に利用されるなど、水の豊かな都市です。一方で、水害の危険性が高い地域でもあるため、治水対策としてコンクリート護岸による河川改修などが進められてきました。
- 近年、河川整備では多自然型川づくりをとり入れ、小河川や水路を、市民が気軽に近づくことのできる水辺環境（親水空間）として、治水上の安全を確保しつつ自然環境と調和のとれた整備がされています。一方で、耕作放棄などにより人が利用しなくなり、良好な水辺の管理が難しくなった小河川や水路もあります。

【ヒートアイランド現象】

- ヒートアイランド現象は、都市部気温が郊外に比べて高く、等温線を描くと都市部が島の形に似る現象であり、生活や健康に影響を及ぼすことから、近年問題視されています。
- 本市は、名古屋市、大垣市、桑名市などとともに、中部圏全体に至る広域的なスケールでのヒートアイランド現象の中にあり、その原因は、自動車やエアコンからの人工排熱、緑地や水辺の減少、地表面のアスファルトやコンクリート化などと考えられています。
- 岐阜駅北口駅前広場に設置された「杜のミスト^{※37}」は、高温化する夏の屋外に「涼感」を提供し、うるおいのある空間を創出しています。また、太陽光発電を利用することにより、低炭素社会づくりにも貢献しています。

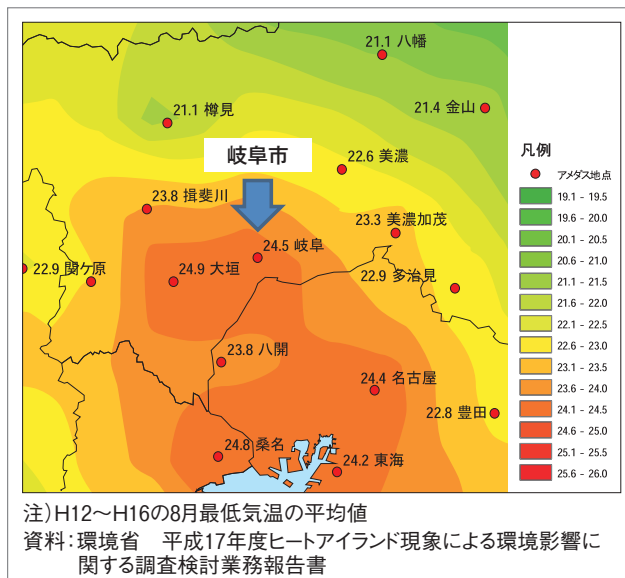


図3-2 中部圏全体に至るヒートアイランド現象

(2) 課題

【市街地の緑の保全と再生】

- 本市では、街区公園^{※38}等の歩いて行ける身近な公園が不足している地区があり、市街地における公園や街路の樹木、住宅の生け垣や花壇などの緑を保全・創出することが必要です。しかし、公園・緑地の整備においては、新しく用地を取得することが困難であり、飛躍的な増大は見込めない状況であるため、市民と行政が一体となり都市緑化の推進を図るため、庭先などの緑を増やす取組や屋上緑化などの取組が必要です。

【水辺環境】

- 水辺環境の保全・整備にあっては、地域の環境特性に基づき、生物の生息・生育空間や親水性の確保に配慮しながら進める必要があります。
- 都心部にある小河川や水路では、水環境に接する機会が減っているため、地域の環境特性を十分考慮し、市民の憩いの場となる水辺の環境整備を進める必要があります。

【ヒートアイランド現象】

- 市街地の緑化は、市民にうるおいをもたらす、二酸化炭素を吸収する機能ばかりでなく、ヒートアイランド現象の緩和にも効果があることから、建物の屋上や壁面の緑化など、市民一人ひとりの手によって身近なまちの緑化を進める必要があります。

※37 杜のミスト／微細な水を噴霧（ミスト）し、気化熱を利用して温度低下と涼感をもたらす設備。JR岐阜駅北口駅前広場歩行者デッキ「杜の架け橋」に設置。
 ※38 街区公園／街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、1か所あたり面積0.25haを標準として配置。

2 主な取組

(1) 市街地の緑の保全と再生

- 本市の骨格を形成する自然緑地である長良川は、大規模なオープンスペース^{※39}を有しており、河川空間の有効利用を図りながら保全します。
- 金華山や百ヶ峰などの森林は、本市を代表する良好な自然緑地として機能しており、環境保全団体等と連携しながら保全を図ります。
- 緑地や河川・水路の保全とともに、幹線道路の街路樹や公園などのオープンスペースの整備を推進します。
- 市街地の大半を占める民有地は、建築物の更新など都市のリニューアルと一体的に屋上や壁面の緑化を促進します。
- つかさのまち夢プロジェクト（岐阜大学医学部等跡地）では、公共施設整備とともに（仮称）憩い・にぎわい広場（約13,000㎡）を整備し、カツラ並木を始め、地域の環境にふさわしい樹種を選びながら多様性のある森をつくります。
- 岐阜城跡、加納城跡、鷺山などは、歴史的文化伝承の緑地として保全・整備します。
- 住区基幹公園^{※40}など、身近な公園緑地の適正な配置に努めるとともに、その機能を補完する運動場やグラウンド、広場などの保全・整備を図ります。
- 神社・寺院などの緑は良好な地域環境を形成する重要な緑地として保全を図ります。
- 市街地及び隣接部を流れる小河川や水路は、地域の環境特性に応じた水辺地を緑地として取り込み、整備・保全を図ります。
- 市街地周辺部に広がる農地などは、田園環境などとの調和に配慮した保全に努めます。また、周辺市街地などでは、宅地と混在した農地が多く分布しているところもあり、地域の緑地資源として保全・活用に努めます。
- 住環境の向上や魅力ある商業空間、うるおいある就業環境の形成などを目指した都市緑化の推進を図ります。
- 中心市街地から岐阜公園一帯の地域において、それぞれの特色を生かしながら重点的に緑化を進め、快適でゆとりある住環境の形成を図ります。
- 市民参加による緑化活動として「緑を増やす」「緑を広める」「緑を引き継ぐ」の3つの事業を中心とした「GOGO作戦^{※41}（Green Over the Ground Operation）大地にあふれる緑作戦」を展開します。



オープンスペース(清水緑地公園)



カツラ並木の親樹空間のイメージ

※39 オープンスペース／都市や敷地内で建物のたっていない土地、広場。

※40 住区基幹公園／歩いて行ける範囲の公園で、居住者の安全や健康的な生活環境、休養、レクリエーションの場として利用させる公園を指し、「街区公園」「近隣公園」などがある。

※41 GOGO作戦／「大地にあふれる緑作戦」の英訳「Green Over the Ground Operation」の頭文字から名付けられた、市民による緑化活動。

(2) 水辺環境の整備

- うるおいのある市民の交流の場を創出するため、地域の環境特性に基づき小河川・水路に親水空間を整備します。
- アクアージュ柳ヶ瀬などのように、地域の環境特性に応じて、まちなかに個性的で魅力ある景観の創出に努めます。
- つかさのまち夢プロジェクト（岐阜大学医学部等跡地）で整備する（仮称）憩い・にぎわい広場（約13,000㎡）には、水深の浅い「森のせせらぎ」を整備し、うるおいのある親樹空間を整備します。
- 農業者や地域住民が一体となって取り組む「農地・水保全管理支払交付金」などを通じて、農業用水路などの周辺環境整備を進め、メダカやホタルといった農地の原風景の再生を図りながら、地域住民などがそれらの自然とふれあえる場の創造を目指します。

(3) ヒートアイランド対策

- 快適な住環境を創出するため、公共施設である小学校等の校庭の芝生化を推進します。
- 路面温度の低下する効果が期待できる透水性舗装^{※42}を積極的に推進します。
- 緑のカーテンなどの身近な取組を紹介し、市民等への啓発活動を推進します。
- つかさのまち夢プロジェクト（岐阜大学医学部等跡地）で整備する（仮称）憩い・にぎわい広場（約13,000㎡）の舗装材には、保水機能を兼ね備えた舗装材を使用し、ヒートアイランド対策を推進します。

3 指標と目標値

指標名	現況値	目標値	指標の見方
森林施業率	(平成23年度) 4.1%	(平成29年度) 増加	現況値は平成19年から平成23年までの5年間で、民有林の面積のうち、保育や間伐を行った面積の割合
多自然型に整備された河川の延長	(平成23年度) 2,989m	(平成29年度) 3,400m	植栽などにより動植物の生息・生育にできる限り配慮した河川の延長
市街化区域面積に対する緑地面積の割合	(平成20年度) 5.4%(約436ha)	(平成42年) 5.8%(約469ha)	市街化区域内の緑地面積の割合

※42 透水性舗装／路面に降った雨水を地中に浸透させる塗装方法。